

## 八尾市西郡地域

〈派遣アドバイザー〉

- 北村建築研究工房  
北村 茂章さん
- ライズ建築設計事務所  
原 多摩樹さん
- CASEまちづくり研究所  
寺川 政司さん・森光 研治さん(協力者)

### アドバイザー派遣概要

八尾市西郡地域の「西郡住宅まちづくり協議会」では、地域の公営住宅の建替えだけにとられない地域全体の“まちづくり”活動がおこなわれています。

今回は地域で2番目に大きく地域の中央に位置する「幸第2公園」の再整備に向けて、地域住民が参加しての新しく生まれ変わらせる公園プロジェクトを発足し、西郡らしい自分たちが利用したくなるような公園を提案するために、まちづくりアドバイザーの派遣をすることになりました。



地域内の公園すべてを視察した後のグループごとのディスカッション

派遣内容としては、他地域の公園見学や地域内の公園フィールドワーク、自分たちでつくる公園デザインゲーム（模型づくり・グループごと）、各グループでつくった模型を1つにした提案模型など、5回のワークショップをおこな

大阪府人権協会では、地域で取り組む住民参加のまちづくりを応援するため、「まちづくりアドバイザー」を派遣しています。

地域のまちづくり活動に関わっての学習会やワークショップ、勉強会などに専門家を派遣しております。アドバイザー派遣のご相談は大阪府人権協会までお問い合わせ下さい。

いました。また、桂青少年会館や桂小学校・中学校と連携した公園づくりの取り組みなど、子どもや地域の人たちが利用したい公園を考えるための活動がおこなわれました。

これらの取り組みの中から、フィールドワークによる地域内の公園の状況と課題がわかったり、自分たちの「幸第2公園」を再生するためには住民どうしが協力して公園を維持していくためのルールづくりが必要であることや、公園の管理の必要性など、住民たちの意見やニーズがでてきました。



自分たちの幸第2公園を現地視察

今後は、今回の公園再整備計画づくりをふまえて、子どもから高齢者までの様々な地域の人たちが参加する機会づくりや今後につながる持続的な計画づくりがすすめられ、この経験を活かして地域の住民が主体的に関わり、西郡のまち全体を考えたまちづくり構想につながると思われます。

## アドバイザー派遣を活用して (西郡住宅まちづくり協議会)

### 1. 地域の概要

西郡地区には大小さまざまな公園が合計21ヶ所あり、合計面積は3万㎡にもものぼります。しかしながら、その公園のほとんどがあまり利用されず、草が生い茂る公園になっています。そして時期が来ると、行政が草刈をするという状態です。

何故なのか？住民が参画してつくられた公園ではなく、これまでの事業によって生まれた余剰地を、公園として管理するようになっているものが多いことから、「行政が勝手につくった公園」という意識が働き、草が生えようがごみが落ちていようが、ほったらかしの状態でした。

そのような状況の中で「幸第3公園」は、地域の中央に位置していることなどから、まったくのほったらかしではなく、自主的に掃除を行なう人達もいますし、朝早くのラジオ体操をしているお年寄りや、2004年にはこの公園で音頭とりを向かえて河内音頭の盆踊りが復活するなど、比較的利用されている公園でもあり、まち全体を考える上で共有しやすい拠点として位置づけられました。

そもそも西郡地域では、公営住宅が51棟あり、現在の西郡は昔と違って、自治会組織がなくなってしまったことから、住棟によって自治意識や住宅管理に格差が生まれ、まち全体で繋がりのない状況が続いていました。また、最初に建てられた住宅はもう40年も経ち、建替えや改善の時期になっていることから、まちづくり協議会では、ただ建替えを行なうのではなく、総合的なまちづくりという視点に立たなければならぬと考えていました。

### 2. 事業への期待

その中で、今回「幸第2公園」の再整備の話があり、住民が参画してワークショップを行うことで、住民に愛される公園作り、またこれから行われるまちづくりの経験の一つとして取り

組まれました。

昔ながらの「おたがいさま」の精神を生み出す人の繋がりを作り直すことも考慮しながら、線で繋がる自治会組織の復活をめざした今回の事業に対する期待が膨らみました。



参加した住民のアイデアが詰まった公園が完成

### 3. 事業の様子

計5回のワークショップを行ないましたが、住民にとってはワークショップ自体はじめての経験の人が多く、グループは小学生・保育所の保護者・青年・高齢者・高校生など、色々な年齢層で構成され、当初戸惑いもあり、ぎこちない様子でしたが、ただ参加して座っているだけでなく自分の意見に耳を傾けて貰えるという事で、「え～そんな話聞いてくれるの～」 「参加している実感がわくなぁ～」などの話し声が聞こえたり、公園管理のワークショップでゴミ箱がほしいと話が出たときは、「地域で公園愛護協会設立の必要がある」との説明で、「へえ～それやったら私らがちゃんとこの公園を見て行かなあかんヤン、がんばろな～」など、積極的な意見が出たりしました。また、小学校の地域学習や子ども会活動などにも取り入れられました。



自分たちが使いたい公園をグループごとで作りました

#### 4. 事業の成果

- ① 今回のワークショップを行なったことで、高齢者と若者、子どもたちと世代間交流ができたこと。(地域の歴史的背景や、伝承)
- ② 住民の皆さんがルールを決め、作り上げることの大切さ。
- ③ 子どもたちによる、自主活動で公園掃除などを行うようになる。
- ④ 他地域の公園見学を終え、自分達の公園の大切さを再確認し地域内の公園と幸第二公園とリンクさせることができる事を再発見して、そのことが今後のまちづくりに発展できることが確認されました。

#### 5. 今後の発展

ワークショップは一段落しましたが、これで終わったわけではなく、公園作りは今から佳境に入るところです。そういう意味では、今まさにまちづくりが始まりだし、今後この経験が、西郡のまちづくりに活かされると期待いたします。

#### まちづくりアドバイザーからの一言

北村建築研究工房 北村 茂章さん

アドバイザーとしてかかわって気づいた点やまちづくりで大切だなと感じた点を上げてみました。

#### 広さでなく在り方が問題

約3万m<sup>2</sup>の公園は西郡地域の面積の6%に当たりますが、決して広すぎるとはいえません。むしろ、20ヶ所以上に細かく分かれているほうが不自然で問題があります。実際歩いてみると公園とは呼んでいますが残地に木を植え、遊具を置いているという印象でした。その公園郡の中では、地域の中心にあり決して広いとはいえませんが、まだまとまった広さがある幸第二公園が、地域で比較的に利用しやすい公園であり、

再整備の計画が住民参加型でこのような形で行われたのは、地域にとってとてもよかったと思います。ただ、6回のワークショップが3ヶ月という短い期間であったので参加者も大変だったと思いました。

#### まちづくりの良い経験

このワークショップで、一番良かった点は、市から出された案に意見を言うのではなく、日ごろ公園について考えていることやワークショップに参加して感じたことを話し、参加者の他のいろんな考えや意見を聞きながら、自分たちの案を1つにまとめていき提案ができた点で、他の今後のまちづくりにとても大切な経験になっていくように思います。

#### 提案後も大切

提案後の地域と行政の関係も大切だと感じている。地域は、提案しっぱなしで、行政は都合の良い様に解釈して整備してしまうと提案の意味が薄れてしまいます。好条件に今回は、設計のコンサル会社とワークショップの段階から直接予算の調整や設計内容の調整ができ、我々がアドバイザーとして間に入り提案後も調整できた点も良かったと思います。

#### 今後も住民さんに期待

今回のワークショップには、たくさんの様々な住民さんが参加されました。小学生や若いお母さん、高齢の方などなど。

今後工事が始まりますが、住民さんが実際に手を動かし花壇やベンチをつくることも提案に入っています。今まで以上に、たくさんの住民さんが、今後の公園づくりのワークショップに参加し、できた後の公園の管理や公園で行われるイベントなどにかかわってもらえることを期待しています。